

<報道関係者各位>

2024年3月26日

FSC®ジュニア・アンバサダー FLEURIRが “食べて・ふれて、学ぼう FSCカフェ”を京都で開催！

京都宇治の食文化体験を通して、森林を守るFSCマークの普及の大切さなどを
宇治地方の人々に知ってもらうための現役高校生によるワークショップ



国際的な森林認証制度FSC(Forest Stewardship Council®)の普及啓発を行うFSCジャパン(特定非営利活動法人日本森林管理協議会、代表:太田猛彦)は、昨年実施したFSCマークの普及に向けたアイデアコンテスト「第4回FSCアワード」の高校生部門で最優秀賞を受賞し、現在FSCジュニア・アンバサダーとしてFSCに普及活動を行っている京都の高校生チーム“FLEURIR”と京都宇治の食文化体験を通して、FSCマークの普及の大切さなどを宇治地方の人々に知ってもらうためのワークショップを2024年3月17日(日)に開催しました。

会場は、「お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな」内の体験室で、宇治の伝統文化である“茶団子”をFSC認証材で作成した特製の串で召し上がったり、楽しくFSCマークを学ぶビンゴゲームなどのアトラクション、また会場内には、FSC認証材で作られた様々な製品の展示コーナーも設置され、多くの親子での参加者はFSCに触れながら楽しい時間を過ごしました。ワークショップは、午前と午後の開催で合計61名の皆さんが参加されました。FSCジュニア・アンバサダーのFLEURIRの二人は、「参加者の皆さんがFSC認証材で制作した串に非常に興味をもって使用いただいたのは光栄だった。また、イベント中の子供たちの笑顔を見て、森林保全の意識をポジティブに広げる活動ができた実感、子供だけでなく、幅広い年齢層の方々にFSCマークについて知ってもらえる素晴らしい機会になったと思う。」とワークショップの感想を述べました。

FSCジャパンでは、未来を担う高校生たちからの発信でFSCマークについて一人でも多くの方に知ってもらうことができたことは大変嬉しく、今回をきっかけに森林保全につながるFSCマークがついた製品を選択するというを多くの方々によって実践されることに期待をしたいと思います。

■実施概要

- 名称：食べて・ふれて・学ぼう FSCカフェ
- 実施日時：2024年3月17日（日） 一部/11：30～12：45、2部/14：00～15：15
- 実施会場：お茶と宇治のまち交流館 茶づな（体験室）
- 参加費：無料
- 実施内容：宇治の伝統文化である“茶団子”を味わいながら、環境保全やFSCマークについて知ってもらおう体験型ワークショップ
- 主催：FSCジャパン、FLEURIR（FSCジュニア・アンバサダー）
- 展示協力：株式会社イシガキ、フロンティアジャパン株式会社



※展示品協力
株式会社イシガキ、フロンティアジャパン株式会社

■FSCジャパン(特定非営利活動法人 日本森林管理協議会)

FSC（Forest Stewardship Council, 森林管理協議会）は、環境保全の面から見て適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理の普及を目的に、環境団体、林業者、林産物取引企業、先住民団体などを中心に、1994年に設立された独立した非営利団体です。現在世界の約1,6億ヘクタールの森林と約60,000の組織がFSCの規格に基づき認証されています。FSCジャパンはFSC国際事務局から正式に承認された、日本の窓口となる組織です。日本国内におけるFSC森林認証の普及や、国内を対象とした規格の検討と作成を行っています。

■FSCマーク

FSCの定めた基準をもとに、適切に管理されていると認められた森林から生産された木材や回収材等の責任をもって調達された原材料から生産された製品に、FSCマークがつけられます。FSCマークがついた製品を使うことで、世界の森林保全につながります。

FSCジャパン公式HP：<https://jp.fsc.org/jp-jp>

FSC公式Twitter：https://twitter.com/FSC_Japan

FSC公式Facebook：https://www.facebook.com/FSC.Japan?ref=tn_tnmn



責任ある森林管理
のマーク

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

FSCジャパン 広報 / 担当：笹本
Email : n.sasamoto@jp.fsc.org

FSCジャパン PR事務局 / 担当：宮脇
Email : info@fsc-pr.jp